

第5回 高原地区街づくり協議会 議事録（要旨）	
開催日時	平成27年6月29日（月）18：30～20：25
開催場所	福住公民館 大会議室
出席委員	13名
欠席委員	田中委員、辻沢委員、木村 ^(洋) 委員、池田委員
事務局	吉川市長公室次長、石原総合政策課長補佐、吉本主査、色雲主査、島田主事 （関係課）教育総務課・冬木次長
決定事項	(1)事務局は、お試し居住モデルの試験的实施周知や福住幼稚園プロポーザル応募要領案を送付し、確認をいただくこととする。
議事内容	
<p>1. 開 会 -18：30-</p> <p>2. 市長挨拶</p> <p>これまでの議論を着実に進めていただくために、本日も鋭意進めていきたい。なお、前回も出席いただいた地方創生アドバイザー・高津准教授が今回も2名の学生とともに参加されている。</p> <p>3. 議事録の承認</p> <p>第4回協議会の議事録につき、異議なく承認された。</p> <p>4. 議 事</p> <p>(1)具体事業の進捗状況等について</p> <p>①高原地区における現状分析について</p> <p>会 長</p> <p>さて、高原地区活性化プロジェクト一覧で協議する前に、現在策定中の総合戦略人口ビジョンにおいて、福住校区の現況が分析されている。高津アドバイザーよりご説明願いたい。</p> <p>高津アドバイザー 【本資料3～6頁】</p> <p>天理市における各校区の人口には特徴が見受けられ、その特徴を把握することとしている。</p> <p>現状分析①中学校区別人口増加率の推移では、福住中学校校区では（1993年～2013年にかけて）24.7%の減少となっている。②中学校校区別世帯数の推移をみると、人口減少しているにもかかわらず、世帯数の増加が見受けられる。他の校区にも共通するが、核家族化や独居世帯の増加など、世帯規模の小型化が進んでいることが理由と考えられる。③小学校校区別年代別人口では、60歳以上の人口が50%となっており、高齢化が進んでいることが見受けられる。職員ワキンググループにおいても、早めの人口対策が必要であるとの発言があった。④中学校校区別の世</p>	

帯数の推移においても、単身高齢化率の高さが見受けられる。

会 長

本資料は、現状数値を提示したものであり、これから、なぜ若者が少ないか等の要因分析を行いつつ、教育対策が必要かなどの掘り下げた対策を練ること等の戦略を進めることとなる。

別冊でお配りした両面文字だけの資料は全国子育て部会の議事録抜粋であるが、全国で出生率の高い地域は、鹿児島県徳之島の伊仙町である（出生率2.81）。アンケート結果から読み取れることとして、経済力や出産施設の多寡が重要ではなく、「親や友人、近所の人の子育てを支援してくれる」との回答を多く挙げられている。この福住地域でも魅力になるだろうと考えている。また、意見交換概要においても、ある市長が「居場所をつくり、お年寄りだけでなく若い父母がお子さんを連れてくるのが大事」と発言され、課題意識は共通していると感じた。やはり、意識的に多世代が交流する居場所を設定することが大事だろうと思う。

宇陀市が市制10周年記念として、雑誌のような冊子を作成された。一度ご覧いただければと思う。それでは、議事に戻り、旧福住幼稚園利活用事業を協議したい。

②旧福住幼稚園利活用事業

前回の会議でも発言したように、同施設を広く利用していただくように公募したいと準備している。あらためて、骨子をご確認いただきたい。

事務局 【本資料7頁】

(1)公募趣旨として、①地域の活性化や雇用の創出等を目的として、民間事業者等の誘致による利活用を図ること、②施設周辺の地域振興や福祉の向上に寄与することが期待できる事業を提案し実行する事業者を募集する旨、(2)事業者負担等については、①基礎的改修（幼児トイレや老朽遊具の撤去）など必要最小限の改修を行い、光熱水費・設備点検等の維持管理費やその他提案事業実施に係る経費は事業者負担とする旨、(3)提案条件として、①地域外からの新たな訪れを生み出し、交流人口の増加、雇用創出に寄与することや②長年地域に愛された施設の利活用であることを鑑み、地域との協調及び地域活性化への貢献と事業継続のバランスが図られた提案であること、③地域説明会を開催する場合には同席を求めるとともに、地域と良好な関係を築くことを重視し、地域説明会及び高原地区街づくり協議会からの要望や意見も参酌することなどを求めることとしている。

会 長

想定される事業者とはどのような法人か。

事業者

市街化調整区域に位置することを踏まえ、NPO 法人などを想定している。また、審査員として本協議会委員からもご参加いただきたいと考えている。

委員

新設される法人も提案可能か。

事務局

継続的な安定性も評価の視点に加えるよう考えているため、同視点からは高い評価がなされにくいのではと思慮する。

委員

地域説明会を開催するとあるが、プロポーザル提案があった後かまたは事業者決定後のどちらか。

事務局

事業者決定後に開催する予定である。また、説明会対象地域も検討しているところである。

委員

(第1回目会議になるが) 子育て世代のために利用していただければよいと話した。

会長

提案として出されればよいと思う。子育て施策の充実というのは、そのような提案があったとしても十分であるとはいえない。現在、教育総合会議でも議論している。他の施策との組み合わせと考えている。

なお、審査員から一定の評価を得られなければ、採択者がいないということもありうる。

委員

子育て問題については、従前より市へ働きかけをしてきたが積極的に受け入れられなかったと思っている方もおられる。半分あきらめている感がある。また、中学生から高校生までの通学調査を実施したいと提案したものの、他の議題が多く採用されなかった。区長等へ提案すべき内容かもしれない。

委員

これから、総合戦略策定にあたり市民アンケートを行う予定であるが、まさに先取りしてい

ただいと理解する。ぜひ、提供していただきたい。あきらめが出た瞬間に当該地域の活性化はないと考える。

委員

高齢化が進むなか、活動できる地域人員が少ない状態であり、本協議会で提案される活動を実行できる方は少ない。兼業農家であれば休みに農業するなど余裕はないと感じている。

会長

イベントのためのイベントは行わない。伝統行事も含めて地域の絆が深まるものは継続したい。生活上満たされているものを見据えた政策を採択する。先につながる目的を持ったうえで協議していきたい。

高津アドバイザー

生活問題は住民の方から聞かないとわからない。車を使わないと生活できないことも考えないといけない。事業を行う場合には、言いつ放しはダメであり、しんどい部分は率先して動かないといけないと思う。

委員

幼稚園の利用にあたり、事業者は自らの業務があるため、活性化部分としては地域へ開放する程度しかないのではないかと。

会長

そうですね。事業者のためだけに利用するならば、有償で貸付けることになる。たしかに、4分の3、3分の2は自らの事業になると思われるが、地域への開放・活性化策とが両立できるところを要請するものである。それゆえに、最低限の施設整備費も捻出する。このままでは朽ちる可能性があるため、まずは、やってくれる事業者を募集したい。

委員

募集要項に、福住郷土活性化プロジェクト協議会へ使えるよう記載いただければ嬉しい。

会長

地域への開放との枠内に含まれると考える。

委員

地域へ開放するというのであれば、それらの意見を反映する運営協議会のような体制を設

けることも重要と考える。もう一步、踏み込む記述を考えていただきたい。

会 長

公示前に、委員の皆さんへ郵送し確認いただくよう手配願う。
では、次の議題・民泊モデル推進事業について進める。

③民泊モデル推進事業（お試し居住モデル推進事業 枠組み）

事務局 【本資料8頁】

前回会議では、7月に実施される行事・イベントに合わせて実行したいと考えていたが、まずは試験的实施を行うこととしたい。

1段階目に若手職員で構成される定住促進対策プロジェクトチームによる実施、2段階目に天理大学生らによる本番同様の実施を考えたい。

委 員

宿泊しながら通学をする方法（通学合宿）なのか、民泊として実施するのかどちらか。

民泊するには受け入れる方が必要であるが、経験上受け入れる方の想像がつかない。定住目的のための宿泊か、もしくは民泊のための宿泊かによって異なると思う。

事務局

定住目的をイメージしていたが、質問された通学合宿という方法もありうる。

会 長

両方あると思う。民泊にしても定住目的にしても、実験しないことにはずっと壁がある状態となる。広げる意味で進めたい。

委 員

民泊という形とシェアハウスとの2類型に分けられると思う。

委 員

学生は非常に興味を持っている。大学としては、ゼミとして繰り返し行っていくことが良いと思う。

委 員

夏だけに限らず、冬も行ってほしい。

会 長

本日お越しの奈良県立大学生2名様の感想を聞きたい。

学 生

私は、熊本県出身のため実家に近くて懐かしい感覚に陥った。原風景が素敵で魅力的だ。シェアハウスとしての活用案はなかなか難しい点もあると思う。

学 生

私は、明日香村で行われている民泊事業のモニター体験をした。本日、「もよの家」に訪問したが、明日香村でもあそこまで古い築年数を有するお家はなかった。車で少し移動するだけで平野部との空気が変わるのは素敵だ。

民泊かシェアハウスかを選択するためには実際に行ってみると良いが、目的をしっかりとさせると課題もわかるだろう。

会 長

福住活性化においては、どれをしてどれをしないという限定しなくてもいいと思う。制度設計については、ご相談したい。

委 員

そうですね。どちらも選択肢となるでしょう。

会 長

議会からもご参加願いたいですね。試験的实施は7月から行うというので、ぜひ住民のみなさまに周知していただき、その様子をご覧いただきたい。

(2) - ②山田公民館利活用事業 (岡田委員によるキャンプ企画)

会 長 【本資料9頁、別添資料「(案) 天理市小学生交流・ひとり寝キャンプ】

次の議題として、天理大学様が高原地区をご訪問いただいた件についてお尋ねしたい。

委 員

5月29日に福住幼稚園、もよの家、山田公民館を訪問した。寝袋をもって一泊するという形もおもしろいかなと思う。山田公民館もグラウンドにキャンプを張って泊まりたいと思う。これについては、「小学生交流ひとり寝キャンプ」として提案したい。福住と平野部のこどもたちの交流をしたい。

【報告】 - 福住小学校スカイプ授業

会 長 【本資料 13 頁】

その提案について教育委員会もご協力願いたい。これにあわせて 13 頁をご覧いただきたい。事務局より説明願いたい。

事務局

6 月 16 日「ちきゅうの教科書」と題して、スカイプを使い、冒険家の西川さんと現地ベトナムからの交流を図った。こどもたちは、文化の違いについて映像を通じて学ぶことができた。

会 長

ベトナム間でもパソコン 1 台あれば交流可能となる。

委 員

市内のこどもたちでも他の校区のことを知らないことが多い。今後は市内どうしの交流が必要だと考えている。

会 長

平野部の中学生・保護者で少人数教育を望む児童がいれば、福住中学校で授業を受けることが可能となるように考えていきたい。それには、交通手段の確保が課題と思う。コミュニティバスの活用も検討したい。現在検討中の教育総合会議においても検討していきたい。実例として神戸市・六甲山小がされている。

委 員

奈良市精華小学校児童は、帯解小との統合後にはバスで通学している。統合したとしてもバス通学となるならば、統合前にその手段を考えるのも一手と考える。

会 長

ご指摘のとおり、小学校（中学校）がなくなれば、いずれにしてもバス通学の話が出てくるでしょう。

委 員

小中一貫校という案もあるが、福住のこどもを平野部に通学させるのではなく、平野部から福住へ通学させるという発想は斬新でおもしろい。

会 長

そうですね。現在行っている耐震工事も、廃校となれば無に帰すことになるため、教育総合会議においても進めていきたい。

(4) 酒米作付け推進事業

会 長 【本資料10頁】

では、次の議題である酒米作付け推進事業について事務局より説明願いたい。

事務局

今年3月、中谷委員のご協力のもと酒米作付けに関心のある方を募り、説明会を2回開催したところ、2名の方が試験的实施に賛同された。生産地としては、福住町と二階堂となる。品目として、吟のさつを使用している。市本委員より詳細な説明をお願いしたい。

委 員

山間のお米はおいしいと認識しているなか、お米に関する事業を提案させていただいた。大和ブランド推進協議会主導のもと、販売先まで確定させた状態となっている。今後は、天理産の酒米を用いたお酒をつくり、名前も募集したいと考えている。

委 員

山間部は標高問題もあり、収穫時期や酒米は主食米より大きいため使用する器具も異なるなど課題もあるなか、2名の農家に手を挙げていただいた。

会 長

今後も、農業振興という目的で進めていただきたい。では、次に長滝町「長い滝」復興活動について説明願いたい。

(2) - ①長い滝復興活動 【本資料11頁】

事務局

前回の会議において、山下委員より長滝町の由来となった「長い滝」があるとの話をいただき、取材も兼ねて視察を行った。

委 員

消防団を主として、近々第3回目となる活動を行う。滝が流れる側の昔の道を復活させる。土木課へも声かけしていきたい。

会 長

人の手配が可能かも含めて方向性を検討していきたい。

(2) - ③天理大学生への評価制度創設について 【本資料12頁】

会 長

では、次の議題「天理大学学生委員への評価制度創設について」岡田委員より説明願いたい。

委 員

昨年4月23日に、天理市と天理大学で包括的連携協定を締結した。両者による推進会議のなかで、授業ではないものの地域貢献する学生に対して評価をする制度が設けられればよいと模索したところ、天理市行政施策に貢献した学生を評価する制度を創設した。学生にとっては、モチベーションが高まるし、履歴書にも記載することもできる。

会 長

本協議会へ参加する2名の学生委員を評価していただければよい。
議題は以上となるが、委員より何か質問はあるか。

委 員

資料5頁について、再度お尋ねしたい。人口分析とあるが、福住には特養ホームに入居する方も含まれているのか。

委 員

含まれていると思われる。今後は、特殊要因も理解して考慮したい。

会 長

以上で議題の討議は終わったが、私よりテレワーク事業の実証実験についてお話をしたい。
天理駅側にボランティアセンターがあり、テレワークを進める予定である。雇用対策として企業誘致を行う方法もあるが、テレワークは人材誘致、雇用誘致と呼ぶこともある。福住から大阪・京都は遠いが、事務的作業をそこで行うということもある。さらに発展させれば、福住で行うこともできる。対象として福住幼稚園の改修時にも検討していきたい。今後10年間でもっと増える分野と思う。パソコン作業である仕事でないといけませんが、福住でも興味をもつ方・ご協力いただける方を探したい。天理の平野部・山間部で成功すれば発信力を持てる事業と考える。天理市民を雇用されている企業様であれば、初期投資なしで行うことができる。

委 員

関西には理系学部も多いが、関西圏にはIT企業が少ないと聞いている。また、先進的な企

業では自然環境のなかで働く形が増えている。

会 長

徳島県神山町が拠点として著名であるし、ヤフー(株)もそうですね。そのような企業の視界に入るには、取り組みを行っている自治体であると注目されないといけない。実証実験の最後の枠に入ったが、一番早く進みそうである。普及する前に手を挙げるのが大事。高津アドバイザーから総括を願いたい。

高津地方創生アドバイザー

高原地区の第1印象として、建物が立派で、仕事に対する熱心さが風景から感じられる。交通の便も良く、可能性があると感じた。継続して地域の勉強をしたい。

会 長

では、お試し居住については住民のみなさんへ周知するとともに、福住幼稚園のプロポーザル応募要綱についてもみなさんへ確認していただくようにされたい。

事務局

それらについては個別に対応していく。

5. 次回の日程と主な協議内容

次回・第6回会議は、8月下旬を目途として開催することを伝えた。

6. 閉 会 -20:25-

以 上